

国語

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（養老孟司『超バカの壁』による。ただし、一部改変してある。）

問 1 傍線部ア、オの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問 2 文中の空欄 に入る語句をそれ以前の文中より八字で抜き出せ。

問 3 傍線部 1 「社会に空いた穴」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問 4 傍線部 2 「いいところもあれば、悪いところもある。」とあるが、筆者自身の例として、具体的にどういうことを挙げているか、説明せよ。

問 5 傍線部 3 「本人は穴を埋めているつもりでも実は山を作っているだけのこと」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問 6 傍線部 4 「私は仕事に向いていない」とあるが、筆者が自己の体験を通してそのことを明確に述べた段落を抜き出し、はじめの五字で答えよ。(ただし、句読点も一字とする。)

問 7 傍線部 5 「仕事よりも虫取りに向いていると今でも思っています。」とあるが、それでもなぜ筆者は虫取りを仕事にできなかったのか、その理由を二点挙げて説明せよ。

問 8 本文の書き出しにおいて、二重傍線部「これがおかしい。」とあるが、筆者はどうあるべきだと考えているからか、本文全体を通して説明せよ。

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（森下典子^{もりしたのりこ}『日々是好日^{にちにちこれこうじつ}』による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 空欄「」にはいずれも同じ語句が入る。最も適当なものを次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 鍛錬 イ 技術 ウ 美学 エ 作法 オ 反復

問3 傍線部1「それがお茶なの」とあるが、その後筆者はお茶についてどう理解したのか。それが書かれている一文を文中から抜き出し、そのはじめと終わりの五字で答えよ。（ただし、句読点も一字とする。）

問4 傍線部2「先生は『余白』を残してくれたのだ……。」とあるが、それはどういう意味か、説明せよ。

問5 傍線部3「オセロ・ゲームの『黒』『白』がグルリと反転した。」とあるが、この表現の言い換えとして最も適当なものを次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 決定的な誤りを悟った イ 対立概念が明確になった ウ 世界観が根底から覆された
エ 新たなる感覚が目覚めた オ 劇的に疑問が解けた

問6 傍線部4「人を型にはめるがんじがらめの世界」とあるが、お茶について同様の認識を述べた表現をこれより前から六字で抜き出して答えよ。

問7 傍線部5「人を競争に追い立てる制約と不自由があり」とあるが、それは具体的にどういうことか、説明せよ。

問8 傍線部6「お勉強って、本当に楽しいわね」とあるが、老婦人がそのように述べていたわけを筆者は後にどのように理解したのか、説明せよ。